



広報くろしおでは、12月号より町内保育所の活動などを知ってもらおうと「保育所だより」をお届けすることになりました。12月から3月まで、4つの保育所を順番に紹介します。

南部保育所



「子ども一人ひとりの健やかな成長を保護者や地域と共に保障しよう」

松岡 由希子

南部保育所は、周囲を海と山に囲まれた自然豊かな場所に立地しています。今年度4月当初は15名でのスタートでしたが、徐々に増え、11月現在は21名となりました。園児数が少ないので2クラスにわかれた混合クラスで保育をしています。行事はほとんど全員参加で、異なる年齢の交流も多く家庭的な保育所です。保護者・地域の皆さんも協力的で力を貸してくれたり子どもたちを温かく見守ってくれています。

つながり

グループホーム三浦・あつたかふれあいセンターサテライト三浦を年3回訪問し、ふれあい交流を



で緊張感を味わうとともに「自分たちが何かをすることで喜んでくれる人がいる」という経験をさせてもらっています。

小学校との連携(二園から二校へ)

保育所から歩いて行ける距離に三浦小学校があり、年長児を中心に交流させてもらっています。年間計画を立てて計画的に交流しています。そのほかの学校行事にもお誘いがあり参加することがあります。参加する機会が多いので子どもたちは学校施設にも馴染むことができているようです。

災害時には避難所になる施設なので親しんで



しています。歌やダンスを見てもらい、肩たたきや握手でふれあっています。人前で発表する体験の中

おくことも目的の1つになってきます。また、保育所時代から学校職員に知ってもらうことで子どもも保護者も安心して就学することができます。

基本的な生活習慣

黒潮町の保育所は共通して「基本的な生活習慣の見直しや生活リズムの向上」をめざし取り組んでいます。

子ども、保護者ともに意識づけをし、「早寝・早起き・朝ごはん」を充実させるべく各家庭で目標を立てて実行しています。子どもたちが元気に日々を過ごすためや、近い将来、学習に向かう姿勢を作るために、その土台となる生活リズムを保育所時代にしっかりと身につけることが大切と考え取り組んでいます。

体を動かそう

保育所では朝運動とゴールデンタイム(午後3時頃)の運動に取り組んでいます。全園児がマラソン、鉄棒、タイヤ跳び、縄跳びなど、さまざまな運動を楽しんでいます。また幼児組はそれぞれ目標を持ち取り組んでいます。できるようになった時にはみんなの前で披露し自信や意欲につなげています。



遊びの中で

子どもたちは遊びや生活の中でさまざまなことを学んでいます。日々自由遊びや制作活動、菜園活動の中で発見すること、友達と協力することなど経験をを通して学び成長しています。

また、天気の良い日には園外へ散歩にでかけています。たくさん歩いて足腰を丈夫にすることだけでなく、「観音さん」「海」「山」など地元の自然を楽しんでいます。ふるさとを愛する子どもにも育ってほしいと願っています。



また、9時に就寝する習慣作りのためにも心地よい疲れを感じる運動を意識して取り入れています。